

博士前期課程（修士） / 共通科目 / 共通科目 科目コード：200010 特別研究（看護デザイン分野） Special Research					
担当教員	垣花 渉				
実務経験					
開講年次	2年次通年	単位数	6	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	135		
Keywords					
学習目的・目標	社会的事象に対して根拠に基づき問題を指摘するとともに、問題を提起し仮説を立てる。仮説を検証し結論を導き出せるようにし、そこから一般化できる知見を見出す。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
	次の7つの段階をととして、修士論文の設計図を作る。 ● 臨床現場での疑問を構造化する：誰を対象に、何の要因に着目し、何と比較することにより、アウトカムを評価するのかを記す。 ● 先行研究を批判的に検討する：何がどこまでわかっているのかを明らかにする。 ● 疑問をモデル化する：要因、アウトカム、因子の関係性を探る。 ● 測定をデザインする：概念を変数へ変換する。信頼性と妥当性を考慮する。 ● 研究の「型」を選ぶ ● 比較の質を高める：交絡とバイアスに対処する。サンプルサイズを設計する。 ● 倫理的配慮：個人情報保護。利益相反。			個別指導	垣花
教科書	特になし				
参考図書等	福原俊一：臨床研究の道標、認定NPO法人 健康医療評価研究機構、2013				
評価指標	修士論文の完成度				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	研究の設計図を作ることが修士論文の成果を上げることにつながります。				